

## 住民周知用資料の改善について

### 1. 改善に向けた背景

以下の点を背景に、より読みやすく手に取りやすい資料となるよう、住民周知用資料（これまでの「開催報告」）の改善を検討しています。

- ✓ 町広報誌には多量の資料等が同封されている（広報誌サンプル参照）。
- ✓ 町広報誌には、第一原発・第二原発発行の資料も含まれており、内容の差別化を図る必要がある
- ✓ 開催報告の認知度や町 HP 閲覧数など（現状を町より報告）

### 2. 改善案と今後の方針

以下の方針で改善を検討しています。皆様からのご意見を伺いつつ、継続的に改善を図っていく予定です。

- 発行主体はこれまでと同様、檜葉町原子力施設監視委員会とする。
- 資料の分量は、これまでと同様（A4・4ページ程度まで）とする。
- これまで「開催報告」としていたタイトルを、「第一原発の現状について」等、住民の関心を得られるようなものに変更する。
- 資料の構成や見出しなどを工夫し、より住民の関心を得られるようにする。
- 資料で取り上げる内容は、委員会での議論・報告内容を基本とし、住民の関心が高い事項についてわかりやすく記載する（高校生でも理解できる程度を目安）。また、住民への影響にも踏み込んだ内容とする。
- 町広報誌に同封しての配付だけではなく、町の施設（ならば Canvas 等）や近隣の原子力関連啓発施設等（廃炉資料館、りぷるん等）で配布することも検討していく。